

大宮学園 小中一貫教育だより

一音に すべてをのせた 合唱祭

平成30年6月26日発行 No.2

大宮中学校合唱祭スローガン「起唱転結 ～ 学年の壁を突破せよ～」

学園合唱！「サザンカ」～“感動”学園がひとつに・・・

6月9日（土）、「大宮中学校合唱祭」が開催されました。大宮中学校の生徒たちは「起唱転結～学年の壁を突破せよ」という生徒会スローガンのもと、各学級で取り組みを工夫し、話し合いを重ねてその成果を堂々と発表していました。

また、この合唱祭には、今年も小中一貫教育の一環として小学校6年生が参加し、3年生の素晴らしい合唱を鑑賞した後、フィナーレでは学園合唱「サザンカ」を小中学生全員で歌いました。この大合唱から、夢に向かっていく前向きな気持ちや仲間に対する感謝の気持ちが伝わってきました。間奏時には、全員の手拍子の中、第一小、南小それぞれの児童代表が感想を述べ、最後は小中学生全員が肩を組んで歌うなど一体感のある学園合唱になりました。

ご来賓の皆様、保護者・地域の皆様、子どもたちへの温かいご声援ありがとうございました。



☆（大宮中3年生の感想より）「今年の合唱祭で得たものは“仲間”～自分を振り返り成長できた合唱祭

私が今年の合唱祭で得たものは「仲間」です。（中略）ミニ合唱祭で自分たちが全然歌えていないことが分かり、クラスで改めてやる気になりました。その時の練習では、パート内で涙がありました。「その悲しくて悔しい想いは、今、私にあるのだろうか？」「私、本当に頑張ってる？」この時から私もパートのみんなも、これまでよりも一致団結してもっと声が出てきたりパート練習の時にパートリーダーがデッキを持ってきてくれるまでアカペラで練習したりするなど、「自分で時間を生み出してもっと練習したい」という雰囲気になってきました。それは私たちのパートだけではなく、クラス全体で「もっと練習以外の時間を生み出そう」という行動の仕方が見えてきました。この時、私はクラスのスローガンである「Dream Ship」にやっと全員が乗り、同じ船の仲間になれたんだと思いました。本番が一番良い雰囲気楽しんで笑顔で歌うことができました。本番前にパート内で声をかけて励まし合えたのが本番での一番の思い出です。残念ながら賞はとれなかったけど、私の学級が一番笑顔で楽しめていました。

＜小6児童の感想＞

「私が中学3年生になったら」

私は朝からとても楽しみでした。なぜなら、近くで中学生の歌声を聞けるからです。そしてとうとう5時間目。中学校に着くと、「来年はここに通うのか。」と思ってワクワクしました。

中学校に2・3組と南小の6年生が着くと、生徒会の方が説明をしに来てくれました。女子の生徒会の方も、とてもきはきと大きな声でしゃべっていたので、私はとてもすごいなと思いました。説明が終わり体育館に入ると、とてもびっくりしました。大勢の中学生や保護者の方が拍手をして出迎えてくれたからです。大勢の人たちが私たちのために拍手してくれたのでうれしかったです。そして歌が始まると、とても感動しました。男子と女子がきれいにハモれていたし、とても迫力があつたからです。3年生の歌が終わると、私は「もっと聞きたかったな。」と少し残念だったけど、来年が楽しみになりました。そして最後に全員で合唱した「サザンカ」は今まで練習してきた成果がしっかり出し切れたと思います。また、後ろの3年生のきれいな歌声が最後に聞いて良かったです。私が中学3年生になったら合唱祭に来た6年生をきれいな声でびっくりさせたいです。

「音楽のすばらしさを知ることができた」

僕は音楽のすばらしさを知ることができた。特に3組の「友」という歌です。去年の6年生が卒業式の時は、悲しくせつない気持ちになる歌でした。しかし今回は、元気のあるすがすがしい気持ちを感じました。歌は気持ちや状況によって人に伝わる感情が変わるということを知りました。それを知って、「サザンカ」では元気で楽しく歌ったので、その気持ちが伝わっていらうれいします。

このことを忘れずに、歌に向き合っていきたいです。

「来年、あの舞台に立つために」

今日は昼から中学校の合唱祭を見に行きました。私たちは学園合唱の「サザンカ」を中学校の人たちと歌うことになっていました。体育館に行くと、拍手で迎えられたので驚いたし、注目されていると思うと緊張しました。私たちが見たのは3年生の人たちでした。中学校ではクラスごとに学年で決められている曲と自由曲で2曲歌い、クラスが歌い終わると学年で決められている曲を歌うものでした。また、クラスアピールというものがあって、その中では「なかなか声が出なかった・・・。」ということ saying it クラスがありました。でも聞いていると、クラス全員で、小学校よりも大きな体育館にとってもよく響いて、これで声が出てないって言えるんだと思いました。私たちは小学校の体育館で学年全員で歌わないと響かなかったのに。それとも、私たちがこれまで全員が全力で声を出そうとしてなかったからかもしれません。3年生の歌には迫力があつた、今の私たちではとうてい追いつけるような気がしません。それでも私たちは来年、あの舞台に立ちます。あの舞台に立てるよう、6年生という学年をしっかりと責任をもってまっとうし、最後には後悔のない卒業式が迎えられるようにしていきたいです。

「来年が楽しみ・・・」

初めて合唱祭に行ってみて、きれいな声で迫力があつた。クラスアピールでも、どんなふうに毎日練習していたのか想像できた。最後には「サザンカ」をみんなで歌い、楽しく盛り上がり、来年が楽しみになった。



(小6児童代表のあいさつ)

「来年、指揮者をやってみたくなった」

ぼくは、合唱祭の中学3年生の発表やクラスアピールを聞いて、来年はぼくたちもこのようなことをしなければいけない、きれいな声で歌わなきゃなという、なぞのきんちょうかんを感じました。ぼくは来年は指揮者をやってみたくなりました。

「みんなで1つの曲を歌えたこと」

大中合唱祭では大中のみなさんと第一小の6年生とで1つの曲を歌えたことがうれしかったです。大中のみなさんとはなかなか会う機会がないので特に印象に残りました。合唱祭に参加してとてもよかったです。

「説得力・表現力を感じた」

歌が一人一人うまくてピアノも上手でした。また、スローガンは特に心が打たれました。今までの自分たちの課題をなおそうとするスローガン、イラスト、一つひとつに説得力、表現力を感じました。全員で行った合唱はとても楽しかったです。

「来年に向け勉強になった」

大中合唱祭に参加して本当によかったと思います。それは、3年生の歌声がとてもきれいで感動したからです。また、指揮者の堂々とした態度がとてもカッコよかったので、来年は私たちがステージに立つので勉強になりました。

「協力と練習」

3年生からの歌しか聞いていないけど、私は2つのことを学びました。1つは協力です。みんなと力を合わせて歌っていたのですごく迫力があつた。もう一つは練習です。たくさん練習するから上手になれるとわかりました。来年は私たちも中学で歌うので、頑張りたいと思います。楽しかったです。

「学園合唱は気持ちよかった」

最初から最後まで見られなかったのは残念だったけど、私たちが見た3年生の歌声は小学校の歌とは違ってとても迫力があつた。学園合唱では声がひとつになって気持ちよかったです。